



平成21年度の牛久市の牛久市のごみ量と処理コストをお知らせします！

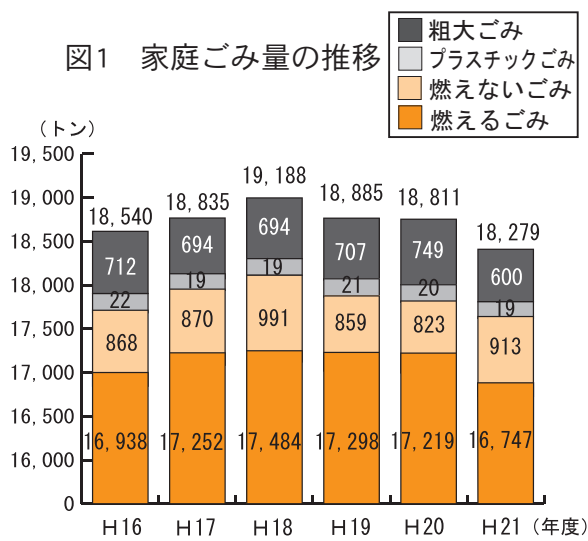
牛久市の家庭ごみ量はどのくらい出るの？

市内のご家庭から排出されたごみ量はどのくらいあると思いますか？（図1参照）

市のごみ総量は平成18年度から減少し続け、平成21年度は約2万8520トン。そのうち64%にあたる1万8279トン（資源物を含まず）が家庭ごみです。家庭ごみの9割以上を占める燃えるごみ量も、平成21年度1万6747トンと前年度より約470トンが削減され、市民の皆さんのごみに対する意識の変化による、排出段階でのごみ分別・削減の成果と考えています。今後ともごみの分別・削減を継続しましょう！

まだまだ減らせるごみがあります！

平成19年度に行った「燃えるごみの分析結果」に基づき算出して



みましょう。

「分析結果」によると家庭から出る「燃えるごみ」の約40%が削減可能なごみです。図2は、平成21年度の燃えるごみ量から削減可能なごみを示したものです。分別や食糧を大切に使い切るなど、私たちのライフスタイルを見直すことで、市民一人1日当たり227グラムのごみが削減可能なことが分かります。平成21年度の市民一人1日当たりの排出量は626.8グラム、平成22年度目標値である

図2 削減可能なごみ重量

	種別	割合	重量(トン)	市民1人1年当たり(kg)	市民1人1日当たり(g)
削減可能なごみ	生ごみ	約22%	3,684	46.16	126.47
	レジ袋	約1.5%	251	3.14	8.61
資源物	紙類	約14%	2,345	29.38	80.50
	その他	約2%	335	4.19	11.50
合計		約39.5%	6,615	82.87	227.08

531.6グラムには95グラム足りませんが、私たちが生ごみの削減や資源物の分別の徹底を実践することで、十分に達成できる目標です。

ごみ処理経費はいくら掛かっているの？

昨年度、私たちが出したごみの処理に掛かった経費は約11億1480万円(市民一人当たり約1万4000円/年)。無駄なごみを削減することにより、ごみ処理経費および温室効果ガスの削減にもつながります。また、削減された経費は、ほかの公共事業に使うことができ、私たちの生活に還元されます。

身近なことからエコライフを始めて、自然環境の保護や生活環境の向上に努めましょう。

ごみ収集車両の火災が発生しました

6月12日(土)の燃えないごみを収集していた車両から、可燃性ガスが残っていたスプレー缶が原因で火災が発生しました。スプレー缶の自身は必ず使い切ってから出してください。